

## 「輝けわれら わが母校」

校長 清水 康男

2月10日(金)は教職員と児童で、11日(土)は教職員とPTA役員・保護者約300名の協力を得て、旧校舎から新校舎への引っ越し作業を執り行いました。参加いただいた皆さんの福岡小学校への熱い思いと行動力に支えられ、作業を滞りなく終えることができました。PTA各位に心から感謝申し上げます。

2月13日(月)には、砂田PTA会長さんのご臨席を賜り、入校式を行いました。

ここに、式辞として児童に語ったことを掲載します。

「児童の皆さんをはじめ、先生や職員の方々が心から待ち望んでいた、新しい校舎に入ることができました。今日は、福岡小学校の新しい誕生日です。保護者や地域の人々とともに大いに喜びたいと思います。

また、PTA会長の砂田様には、とてもお忙しい中、入校式に駆けつけていただきました。本当にありがとうございます。

さて、高岡市、地域の人々、工事関係者など多くの方々のおかげで立派に出来上がったこの近代的な校舎は、輝くばかりの美しい姿を私たちの前に見せてくれています。新しい校門からゆったりとした通路を歩いてくると広い玄関が迎えてくれます。また、明るい教室、広い廊下やオープンスペース、そして木材をたくさん使用したぬくもりあふれる空間はとても心を落ち着かせてくれます。その他、最新の設備が整った理科室、家庭科室、ランチルームなどたくさんの特別教室があります。この校舎で生活できる皆さんはまことに幸せです。これからも、皆さん一人一人が一生懸命勉強し、思いやりの心を育て、いじめのない学校生活を送り、よい思い出を作っていってほしいと思います。

先週まで生活していた校舎は、皆さんが新校舎を大切に使い、努力していく姿を、隣で見守ってくれています。また、二宮金次郎像も、新しい場所から皆さん一人一人のがんばりを見つめてくれています。

ところで、校長先生から、皆さんに必ず守ってほしいことを一つ言います。新校舎は生まれたばかりですから、隅から隅まできれいなのは、当たり前のことです。1年後には、新しい体育館が出来上がる予定ですが、お世話になった方々を大勢お招きして、盛大に記念式典を行います。その時にこの校舎がどうなっているかが、とても大切なのです。一人一人が感謝の心をもって学校生活を送ることができれば、今と同じきれいな学校のままだと思います。美しい学校をいつまでも続けていくこと、これをぜひ守ってほしいのです。

終わりに、先輩たちが学んだ思い出深い校舎に負けないよう、新しい校舎で努力していくことをみんなで決意して、式辞とします。」

校歌にある「輝けわれら わが母校」は、福岡小学校を愛するすべての人の合い言葉であると考えます。旧校舎からバトンタッチされた新校舎の“輝き”に負けない、福岡っ子の健全育成のために、教職員一同尽力していきますので、保護者・地域の皆さんのご協力とご鞭撻をお願いいたします。

## スキー教室(第6学年)

1月20日(金)に、6年のスキー学習が、I O Xアローザスキー場で行われました。始めた頃は、小雨がぱらつき心配しましたが、徐々に天気もよくなり楽しく練習をすることができました。6年生は、昨年もI O Xアローザスキー場で、スキー教室を行っているので、すぐにスキー靴やスキー板をつけ、各班に分かれました。そして、講師の先生の話をよく聞き、練習に取り組みました。「右や左に上手に曲がれ



るようになったよ。」「何回もリフトに乗って滑ることができたよ。」「初めてゴンドラに乗ったのがうれしかった。」など、一人一人が上達した喜びを味わっていました。スキー場からの景色もよく、充実した1日でした。スキー教室が終わった次の日に、さっそく家族でスキー場に出かけた子どももおり「先生、スキー場に行ってきたよ。とても楽しかった。」とスキーで滑ることを楽しんでいました。

## 第33回 万葉かるた大会

去る1月19日(日)、Uホールにて、「第33回越中万葉かるた大会」が開催されました。

本校からは、4年生以上の20名が出場しました。目に鮮やかな赤い毛せんが、フロアいっぱいに敷かれ、子どもたちは緊張感に包まれての大会でした。

大会に参加した子どもたちは、『井の中の蛙、大海を知らず』ならぬ、『～、大海を知る』の心境だったのではないのでしょうか。校内の練習しか経験のない子どもたちの多くは、「上には上がいるもんだ!」と感じたようです。

しかし、団体戦(6年の横山健十さん・上森崇道さん、5年の水口将一さん・松田珠望さんの4名)では、初めての5位に入賞しました。また、個人戦では、4年生の畠山美和さんが、4位に入賞するなど、大健闘でした。今回の結果は、これまでの限られた時間の中で、一生懸命に努力をしたからこそ得られたご褒美だと思います。他の子どもたちも、練習で培った力を発揮しようと、プレッシャーに負けず、本当によく頑張りました。



子どもたちは、今回の大会に向けての取り組みから、苦勞することで手にできる喜びの尊さを味わえたのではないのでしょうか。

これからも、福岡っ子が、いろいろなことにチャレンジしていくことを願っています。

